

# はじめに

高齢者が要介護状態になるリスクファクター

- ・ 転倒、骨折
- ・ 閉じこもり
- ・ 気道感染

## 肺炎

日本における死亡原因4位  
65歳以上が80%以上を占める

近年では・・・

- ・ 介護予防としての口腔機能の関心も高まり  
口腔機能や口腔ケアに関しての介護報酬の見直しも見られた

現状は・・・

- ・ 嚥下障害のリハビリテーションは食べれなくなっからの依頼が多い

# 対象と方法

## 食事と口腔ケアの関係について調査

当法人デイサービス、デイケアの利用者

- ・ アンケート調査前に188名の口腔内環境を評価した
- ・ 188名中アンケート協力者121名を有効回答者とした

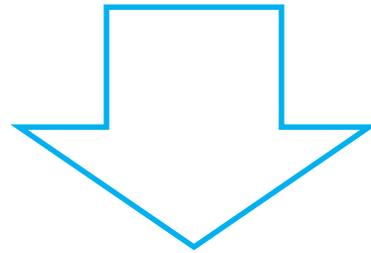
### 口腔内衛生状況判断基準

	DPI: Dental Plaque Index	TPI: Tongue Plaque Index
0	全くプラークを認めない	舌苔なし
1	歯面に1/2以下のプラークを認める	舌苔あり
2	歯面に1/2以上のプラークを認める	

阿部らの口腔内衛生状況指標

# 対象と方法

- 生活上の楽しみと口腔ケアについてアンケートを実施
- 実際の口腔内衛生状況と比較検討



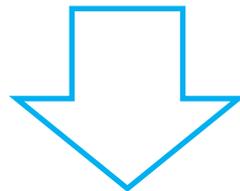
## 検討項目

- 食事に対する期待感
- アンケートによる口腔ケアの実施状況
- ST評価による実際の口腔内衛生状況

# 結果

## アンケート結果より

食事に対する期待	⇒	楽しみにしている	81%
		「なんとも思わない」「楽しくない」	19%
口腔ケアの実施状況	⇒	介助なしで口腔ケアを行っている	80%
		介助で口腔ケアを行っている	20%
口腔ケア実施時間	⇒	朝行っている	48%
		昼行っている	5%
		夜行っている	40%
		毎食後行っている	32%

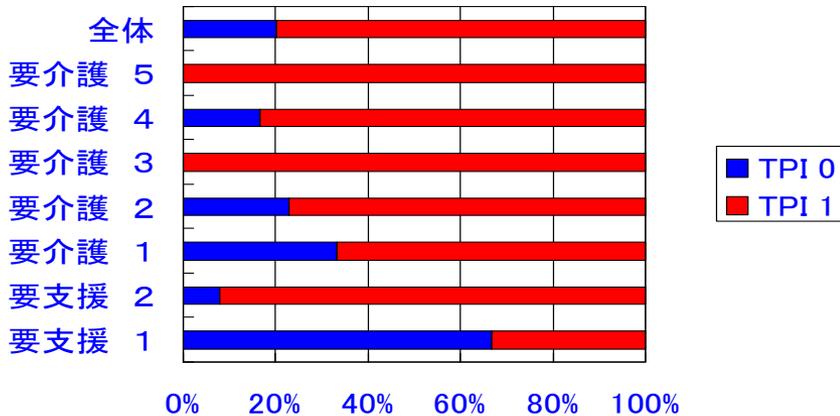
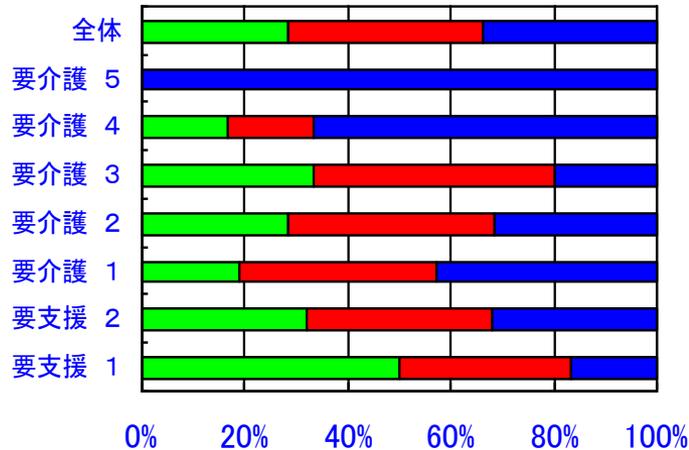


実際の口腔内状況は

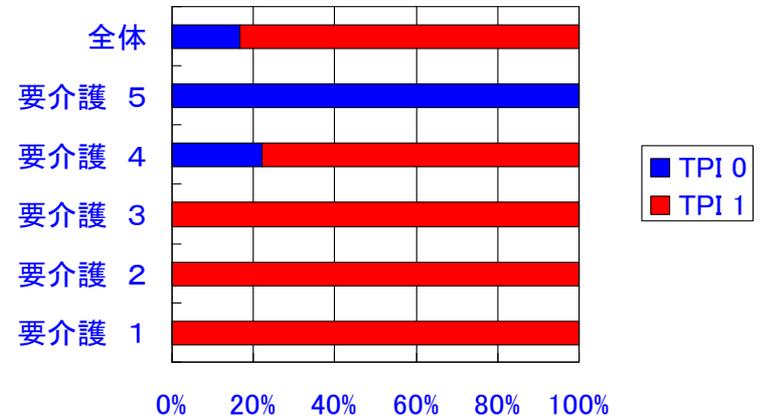
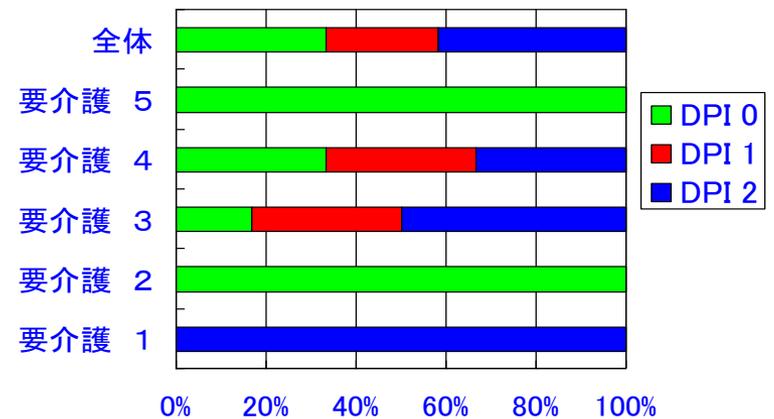
# 結果

## アンケート結果からの口腔ケア自立度別口腔内汚染状況

### 口腔ケア自立群

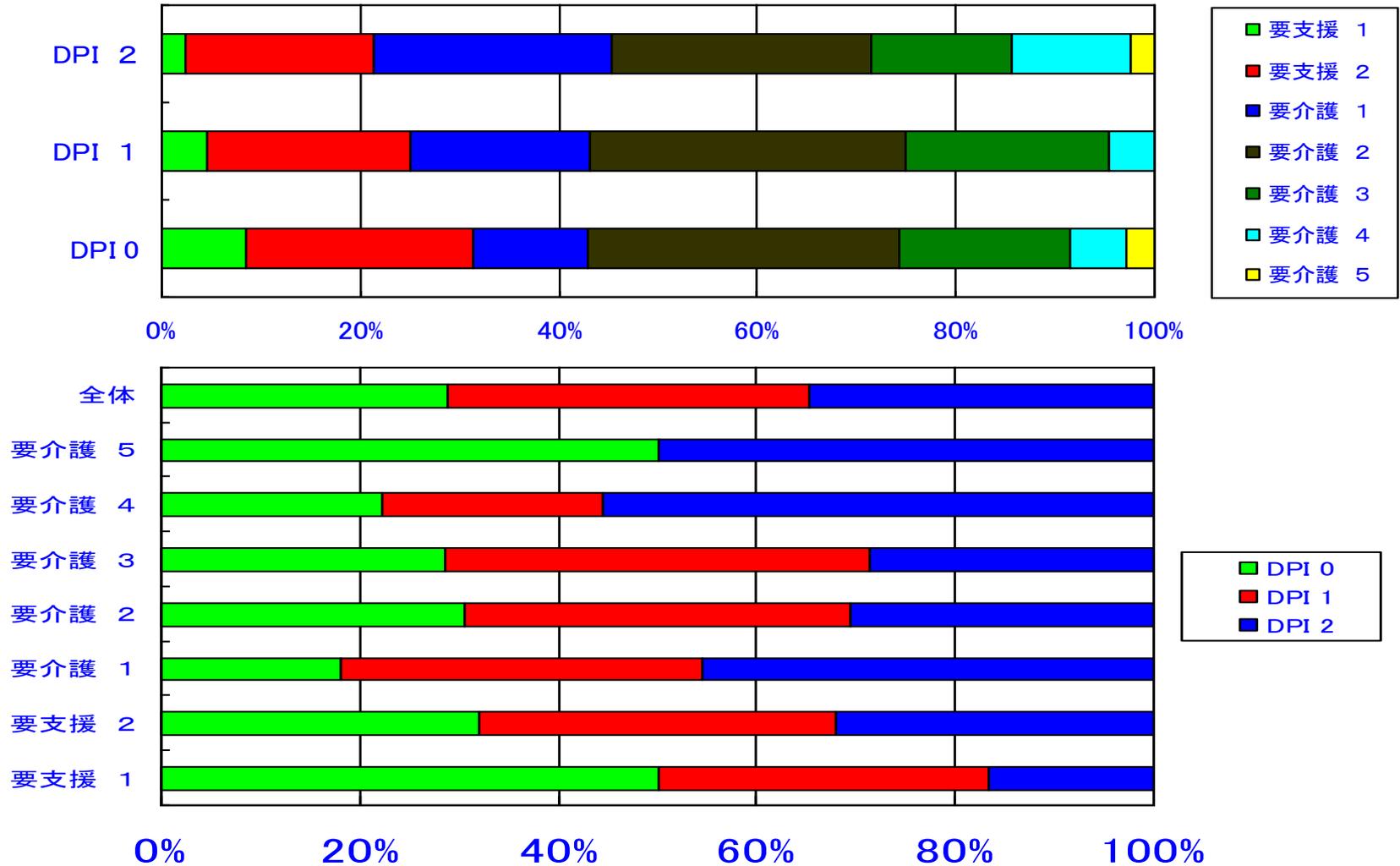


### 口腔ケア介助群



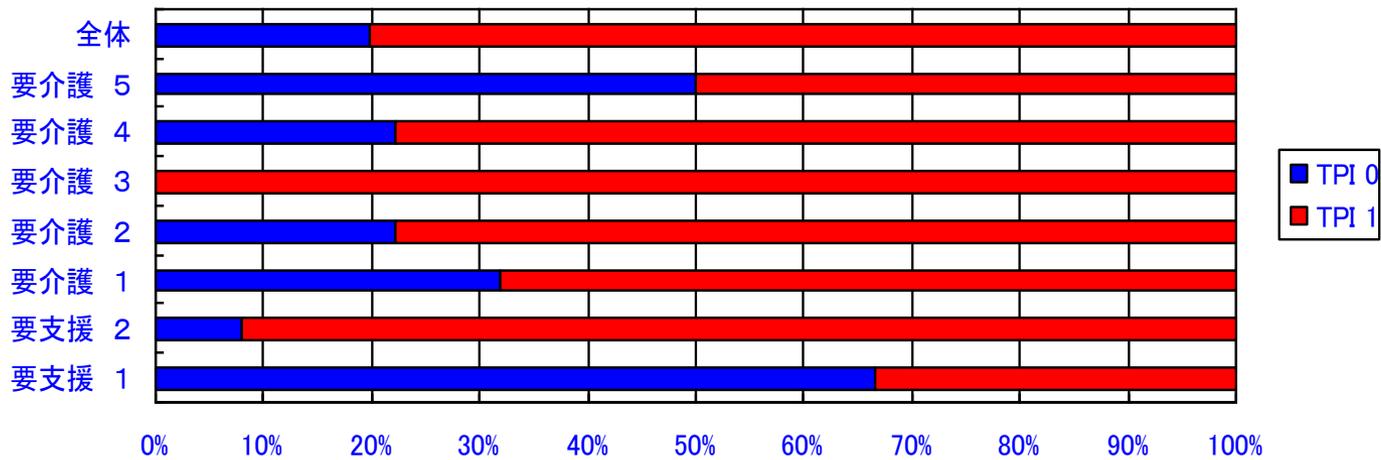
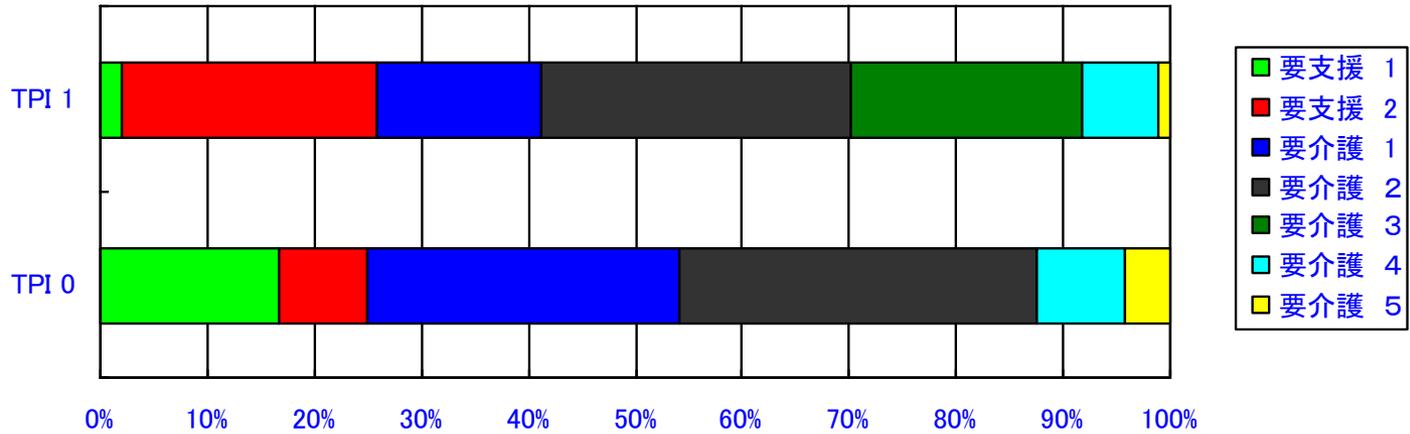
# 結果

## 全体の口腔内衛生状況(プラーク付着度)



# 結果

## 全体の口腔内衛生状況(舌苔の有無)



# 考察

口腔ケアが普及しているという状況ではなかった…

では、なぜ普及しないのか

本人



「特に困ってないよ」  
「ちょっとくらい入れ歯が合わなくても」  
「他人に口の中を見せるのはちょっと…」  
「これ以上家族に迷惑かけられないし」 等

家族



「歯磨きくらい自分でやってるよ」  
「うちのじいちゃん家族が言っても聞かないから」  
「最近ばあちゃんの口臭が…」  
「でも、どうやったらいいのか」 等

医療スタッフ



「口腔ケアは知ってるよ」  
「口に中まで見たことないなあ…」  
「見えないからねえ…見るのも失礼だし…」  
「〇〇さんしっかり食べれてるよ。心配ないよ」  
「マンパワーが…」 「ほんとに必要？」 等

口腔内への関わりが遠のく…

# 考察

今回の結果の口腔内衛生状況では

- ・・・口腔内汚染がみられる口腔内で食事の味を  
感じる事ができるだろうか
- ・・・毎日の行為である口腔ケアの不十分さが  
嚥下機能の廃用につながるのでは
- ・・・食べられなくなっても口腔内に痰や汚染物の汚れがあって  
気持ちがいいだろうか
- ・・・食べられなくなっからの嚥下障害のリハ依頼でいいのだろうか

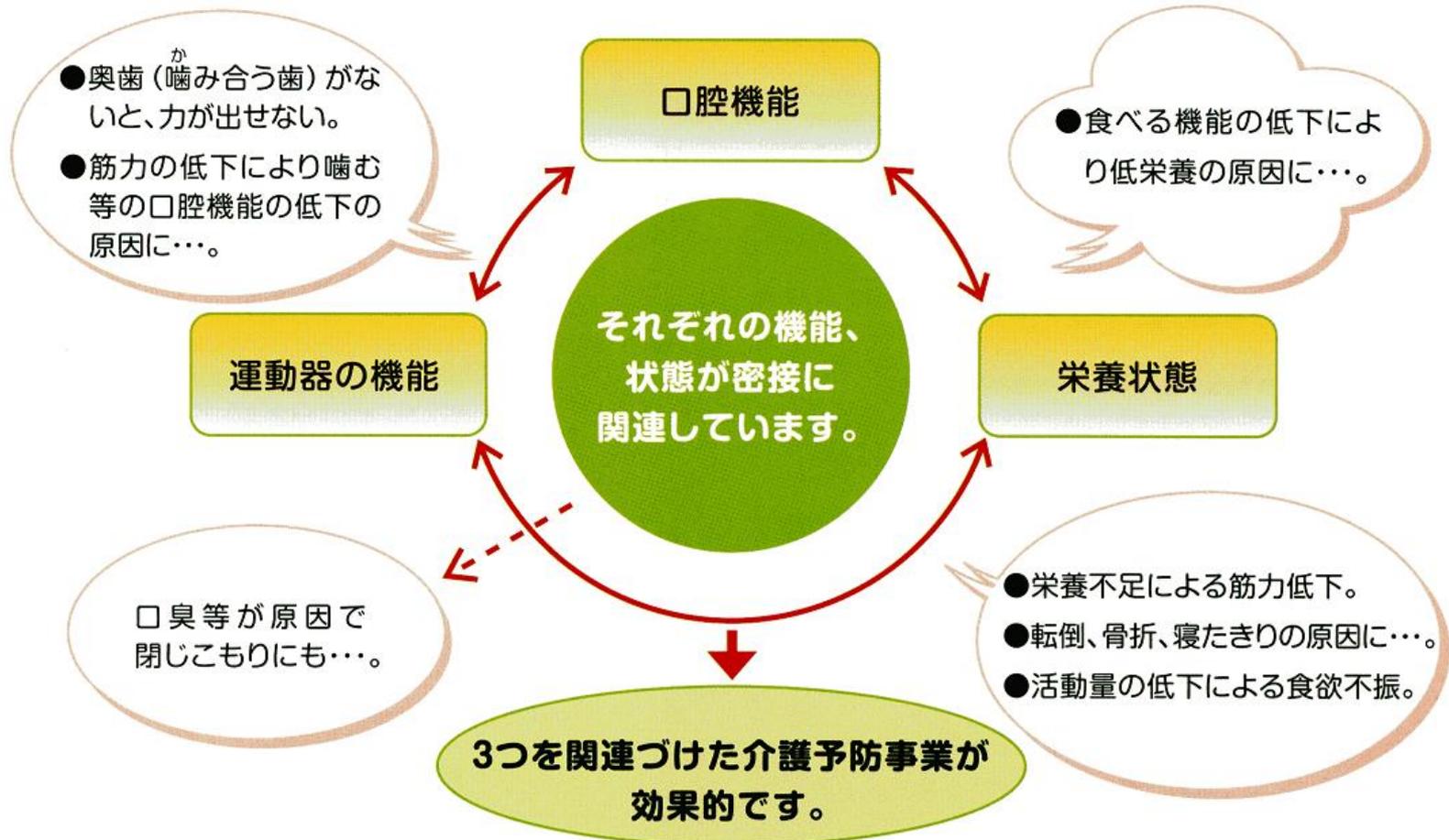
藤島一郎先生 「医療の現場で口腔ケアは悲惨である」

今回の結果もまさに「口腔ケア」という言葉だけが独り歩きしている状態であった

# 考察

## 口腔機能の向上と栄養と運動の関連

口腔機能、栄養、運動器は、それぞれが深く関わっています。



(社)新潟県歯科医師会 (財)新潟県歯科保健協会

口腔機能アップ！元気なお口で寝たきり予防ー介護予防従事者向けヒント集ーより抜粋



おわりに



## 「おいしく、楽しい食事」

機能が低下していても人生の最後まで楽しんでもらうために  
介護予防リハビリテーションの一環としての口腔ケアの普及を

食事という行為は単に栄養補給ではなく、家族との接点を与え  
その人が至福のひと時を過ごし自発性の種を育てる大切な  
時間なのではないか……

他職種との口腔ケアの理解と技術の向上に向けての道のりは……

「 智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。  
意地を通せば窮屈だ。兎角に人の世は住みにくい…… 」

夏目漱石 小説「草枕」より

# まとめ

## 今回の調査結果で・・・

- 在宅生活者のほとんどが食事を楽しみにしていた
- 自立で口腔ケアを行っているとの回答が多かったが実際には口腔内汚染がみられるものが多かった

## 今後の展望と期待

- 介護保険分野での歯科関連スタッフの介入
- 口腔ケアが嚥下リハビリとしての一環であることの認知
- 介護予防としての口腔機能に関するケアプラン記載の普及